

第3回徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会 議事録

と き 令和6年1月25日（木）
午後2時00分から
ところ ホテル千秋閣7階鳳の間

次 第

1 開 会

2 議 事

- (1) 徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（案）について
- (2) パブリックコメントの結果について
- (3) その他

3 閉 会

事務連絡

資料

- 資料1 サービス料の見込み及び介護保険料について
- 資料2-1 徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（案）
- 資料2-1 徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（案）【概要版】
- 資料3 パブリックコメントの結果について
- 資料4 保険者機能強化推進交付金等の評価結果について
- 資料5 令和5年度保険者機能強化推進交付金
- ・ 介護保険保険者努力支援交付金評価指標（市町村分）

【議事内容】

事務局	・ 開会あいさつ ・ 委員の変更についての報告
議事（1）徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画（素案）について	
事務局 A委員	【資料1説明】 保険料の所得段階が12段階から15段階に多段化するという説明があったのですが、多段階化に至った理由についてももう少し詳しく教えていただければと思います。

事務局	<p>第9期計画において、国の方から今後の介護給付費の増加を見据えて、介護保険制度の持続可能性を確保する観点から、被保険者間での所得再配分機能を強化することで、低所得者の保険料上昇の抑制を図ることなどを理由として、標準段階の9段階から13段階への多段階化が示されております。本市では第8期までで既に国の標準段階であります9段階よりも多い12段階としておりましたので、今回の国の見直しや、これまでの本市の多段階化の考えを合わせまして、第9期から保険料を15段階とすることにしております。これによりまして、保険料基準額を抑制し、国が示す低所得者の保険料軽減を行っております。</p> <p>なお、今後も介護給付費が増加する傾向であることを踏まえまして、介護予防等の各種施策の取り組みなどを継続・強化しながら保険料の抑制に努めていきたいと考えております。</p>
B 委員	<p>第1号被保険者の特別徴収と普通徴収の割合と、未納の方の割合を教えてください。</p>
事務局	<p>令和4年度の情報にはなるのですが、特別徴収の割合が89%、普通徴収の割合が11%。収納率が98.9%となっておりますので、その残りが未納ということになっております。</p>
C 委員	<p>前期からの増額分の保険料について、9億円の取り崩しを行ったとなっておりますが、基金は幾らだったのでしょうか。</p>
事務局	<p>令和5年度末において、基金残高は20億9400万円程度でございます。</p>
C 委員	<p>20億円程度の残高があるということですが、基金を全額投入して保険料を下げるということは可能なのでしょうか。</p>
事務局	<p>おっしゃる通り、基金を全額投入することによって保険料を減額することは可能性ではあるのですが、物価高騰、賃上げが中長期的に続く可能性があることや、今後後期高齢者が増加していくことを踏まえると、給付費がもっと増加することが考えられます。介護保険制度はこれからも続いてまいりますので、第9期だけで基金を全部使い切ってしまうと、第10期以降に基金が枯渇する状態になった場合、急激な保険料の上昇というように市民の方に急激に負担を強いるようなことが起こりかねません。安定的な介護保険財政を行うために、中長期的な視点に立った考え方によって保険料を設定したものでございます。</p>
会長	<p>他の自治体も徳島市と同様に基金全額は投入しないのかその状況を教えてください。</p>
事務局	<p>先日近隣の自治体3市に聞き取りを行いました。そのうち2市につ</p>

会長	<p>いては、基金残高の4割から5割程度の取り崩しを行い、保険料を据え置くということを聞き取っております。なお国からは、物価高騰で賃上げが続く可能性等あることから、余裕を持った基金運用を行うようにという方針が示されております。</p> <p>第9期では介護報酬改定により、介護サービスの単位数が増えることや、高齢者が増加するということで給付費が増えるということは間違いないと考えます。今回保険料基準額が据え置かれたということは、実質的には市民の負担軽減につながるのではないかと思います。</p> <p>今後も介護予防等の取り組みが必要になると思いますのでよろしくお願いします。</p>
D 委員	<p>第9期の令和8年度まで給付見込みを示していただいているのですが、今後給付見込額も非常に増えてくると思います。何年後くらいがピークになるのか教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>あくまで現時点での見込みとなるのですが、総給付費につきましては、令和22年度ごろにピークを迎える予測となっております。</p>
会長	<p>特に反対意見も無いようなので、事務局から次の議事について、説明をお願いします。</p>
議事（2）パブリックコメントの結果について	
事務局	<p>【資料3説明】</p>
会長	<p>ただいまパブリックコメントの結果について説明がございましたが、これについてご質問ございますか。</p>
一同	<p>質問なし。</p>
会長	<p>今回お示しした案をもとに本計画の策定を進めてまいります。</p> <p>なお、計画の軽微な修正につきましては、事務局からの提案をもとに会長一任により修正をしていきたいと考えております。ご了承いただけますでしょうか。</p>
一同	<p>異議なし。</p>
議事（3）その他	
事務局	<p>【資料4説明】</p>
E 委員	<p>評価の表のところですが、評価指標のⅡ（4）認知症総合支援のところは推進・支援ともに100%となっていて素晴らしい評価を得ているということなんですが、中項目の下位の項目はどこかで見えることはできるのでしょうか。</p>
事務局	<p>細かい評価項目の事業につきましては、本日参考資料として、資料5</p>

E 委員 事務局	<p>に詳細が示されております。</p> <p>認知症の方を支援している者から見て、乖離がないかをチェックさせていただきたいと思います。</p>
F 委員 事務局	<p>評価指標についてはホームページでも公表させていただきますので、ご覧になっていただけたらと思います。</p> <p>地域密着型サービス運営委員会でも話が出たのですが、評価指標のⅢ（２）介護人材の確保について、得点率が低く、人材確保に関して何か市の方に動きがあるのかという問いに対して、その予定はないという回答だったのですが、こちらの会でも同じ回答でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>介護人材の確保の点数が低いということで、介護人材の確保に向けて、介護サービス事業者、教育関係者と連携して行う取り組みなど、多様な現役高齢者の活躍に向けた取り組みを実施しているかというところで、取り組みができていないところなんですけども、今後教育委員会等と連携しまして、例えば事業所の職場体験等の実施をするなど、新たな取り組みを検討できればと思っていますところでございます。</p> <p>また、令和６年度の指標が大幅に変更しておりまして、都道府県と連携して、地域の課題等を共有しながら、介護人材に向けた取り組みをしていくということが評価シートに加えられております。徳島県と相談しながら、新たな取り組みなどを進めていけたらと思っています。</p>
F 委員	<p>介護をする現場の人間からすると、人材確保は重要な問題になってきますので、是非よろしくをお願いします。</p>
G 委員	<p>冬休みに高校生と中学生のインターンシップということで、県の社会福祉協議会を通して、私どもの施設に６名くらいがおいでになりました。皆さん理学療法士を目指したいと言っていて、前途は明るいなと思ったんですけど、介護職に手を上げる人が少なかったのが少し残念でした。徳島市の方でも教育委員会等と連携して、小さな頃から福祉に対する関心を養っていただければいいなと思いました。</p>
会長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>以上で予定していた議事は終了いたしました。他に全体的なところで質問ご意見等ございませんか。他に意見がないようですので、事務局は委員からの質問に対する対応をよろしくお願いいたします。</p> <p>委員の皆様、長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。最後に事務局から連絡がございます。お願いします。</p>
事務局	<p>本計画案は、この後３月議会でご報告させていただきます。</p>

	<p>計画策定に向けた会議は今回で終了となります。委員の皆様、3回にわたりご審議いただきましたことに感謝いたします。ありがとうございました。</p>
--	--

令和6年度以降は、進捗管理について、年1回会議を開催する予定としておりますので今後ともよろしくお願いいたします。